

受験世界史コーチ
KATE

やみくもに
暗記しなくても
世界史の偏差値
を**50から60**
に上げた方法

現役京大生
直伝の書

著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。本冊子の著作権は、発行者にあります。本冊子の使用用に関しましては、以下の点にご注意ください。

使用許諾契約書

本契約は、本冊子を入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

第1条 本契約の目的

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

第2条 禁止事項

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。

特に当ファイルを 第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自自らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとしします。

第3条 損害賠償

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金金が発生生ずる場合がございますのでご注意ください。

第4条 契約の解除

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用用許諾諾契約書を解除することができるものとしします。

第5条 責任の範囲

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても 一切の責任を負いません。

目次

はじめに.....	5
このレポートに書いてあることを実践すると起こること.....	25
なぜあなたの世界史の成績は伸びないのか？	27
成績が上がるカラクリ.....	27
世界史が苦手な人、成績が上がらない人は枝葉勉強法をしている.....	31
世界史のストーリーは数学でいう公式なんです.....	33
ストーリーを使えば同年代史の問題も解けるようになる?!	37
ストーリーを使えば、論述も楽々?!	40
ストーリー暗記のものすごい効用	43
「ストーリー勉強法」.....	47
大切なことは2つだけ	48

まずはこれをやれ！「ストーリー勉強法」入門	50
成績アップのために投資するという考え方	60
さいごに.....	70

はじめに

はじめまして。ケイトです。

私は、「受験世界史研究所 KATE」というブログを運営している京都大学の3回生です。

この度、「やみくもに暗記しなくても世界史の偏差値 50 から 60 に上げた方法」をダウンロード頂き、誠にありがとうございます。

本レポートでは、世界史の用語や年号などの暗記量を減らしながら、世界史の偏差値を 50 から 60 上げる方法ということを解説していきます。

また、

今やっている勉強法の問題点がわかり、

だれでも世界史の偏差値は上げられるんだ、という事が分かり

さらに

なぜこの世界史の勉強法が偏差値アップにつながっていくのかも分かっています。

こういうことをいうと、「京大生だからでしょ?」「地頭が良いから偏差値 10 くらい上げられたんでしょ?」と思われるのですが、私はも偏差値が上がらずに悩み苦しんだ受験生の 1 人でした。

私の世界史の偏差値は 55 とかその辺でした。

高1の時から、

週6日練習があるハードなハンドボール部に所属しながら、

2つの塾に通って遊ぶこともなく吐くほど勉強していましたし、

受験生時代は毎日10時間は受験勉強をしていました。

色々なノウハウを試し、苦しむように勉強しました。頑張れば成績は上がる。

そう信じて勉強しました。

しかしながら、世界史を含め、全くと言って良いほど成績は伸びなかったのです。

どれだけやっても伸びない

そうかといって勉強時間を増やしても成績が伸びずにまた苦しい

模試では全く結果が出ず第一志望の京大はE判定

泣きそうでした。

もやもやと悩みを抱えたまま、私は3年生になり、部活を引退しました。

週6で練習のあった部活がなくなれば、勉強時間も増えて成績も上がる
だろう。

私は「偏差値が上がり、京大に合格する」という未来を想像して、わくわく
しました。

勉強時間が増えても、成績はあがりませんでした。いよいよ私は自信がなくなりました。勉強するたびにもやもやしました。

「私には無理かも」

「京大なんか夢のまた夢」

暗い未来ばかり想像し、どんどんやる気を無くしていきました。その状態のまま受験の天王山である夏休みに突入し、解決することも無く終えてしまいました。

成績があがらない恐怖と惨めな未来の不安しか私にはありませんでした。



shutterstock.com • 1432128161

しかし高3の9月、私の受験生活を変える「勉強法」と出会います。

その勉強法は、

「世界史は、「ストーリー」を理解することが肝。」

ということを教えてください。

どういふことか。

世界史の問題というのは、「ストーリー」が基になっていて、切り取られた

1部分が問題になっています

例えば、「桃太郎」という物語があります。そして、この桃太郎が試験範囲
だったとします。

この時あなたは、

用語ばかり覚えますか？

それとも桃太郎の「お話」を理解して覚えますか？

恐らく、「お話」を覚えるでしょう。その方が点が取れるからです。しかし、
世界史になると、みんな血眼になって用語や年号を覚え出すのです

これっておかしいですね。

このように「ストーリー」を理解して覚えることが重要だと気づいた私は、
今までの勉強法を振り返って見ました。

そうすると、

今までの用語や年号をやみくもに覚えたり、

何も考えずに教科書を音読するような勉強法だったので

私はそれらをすべて辞め、世界史の「ストーリー」を理解し覚えていく勉強法に切り替えていきました。

するとなんてことでしょう。

毎日の勉強が捗るようになり、一問一答の問題集はスラスラ解けるようになっていきました。

おまけに自信もついていきます。

すると秋の模試で世界史は **マーク 9 割**

記述偏差値 **65** という結果が出ました。

やっつっつっつっつっつ
たあああああああああ

ああああああああああ
ああ

と心の中で叫びました

努力が成果に繋がった瞬間でした。

大学受験の結果的には、

残念ながら、第一志望の京都大学には落ちはしましたが、

受けた私大(立命館大学、同志社大学、関西大学、近畿大学)にはすべて合格を頂きました。

現役志望だったので、立命館大学国際関係学部に進学しました。

あれ？京大生じゃないの？

そう思ったことでしょう

この話には続きがあります。

立命館大学に進学し、そこそこ大学生活は楽しかったものの

悔しさは残っていました。

なんとかリベンジしたい。

再チャレンジしたいと思いました。

そんな時、京都大学には、法学部に三年生から入ることができる**編入制度**があることを、友人が教えてくれました。試験は大学2年生の秋にあります。

そこで私は大学1年生の春から、「**編入試験に合格すること**」を目標とし、

これまでに身に付けた勉強法を応用しながら、京大に入るために努力を続けました。

何回か心が折れたし、しんどかったです、2020 秋、京大の3年次編入
試験を無事に終わりました。

そして12月になって結果がでました。

それは「**合格**」の2文字でした。

令和2年12月18日

受験番号 8
竹内 麻菜 殿

京都大学法学部長
山本 敬



合格通知

あなたは、令和3年度京都大学法学部第3年次編入学試験に合格しましたので、通知します。

入学料納付及び入学手続き等に関する詳細は、令和3年3月上旬に通知します。

なお、3月10日を過ぎても通知が到着しない場合は、法学部教務掛へ問い合わせして下さい。

京大に受かるまでに本当に苦労はしましたが、勉強を続けてきて良かった、そして、高校3年生の時に、あの世界史の「勉強法」に出会って良かったなと思いました。

ここまで分かるとおり、

世界史の偏差値を 10up

京大合格

というのは、**天才でなくても達成できます**

必要なのは、成果の出やすい「勉強法」を使っていくことだけなんです。

私でも偏差値を1ヶ月で10上げることができたのは、

「勉強法」のおかげです。

編入試験に合格したのも、「勉強法」のおかげです。

「「勉強法」がすべて」と言っても過言ではないかもしれません。

「勉強法」のパワーは私だけ留まりません。

過去に指導させて頂いた、早稲田大学志望の受験生は

何から手をつければいいのか分からない状態から、

「勉強法」を知ったことで迷いなく勉強できるようになり、

共通テストの模試で8割ほど取れるようになりました。

偏差値は54→62と飛躍しました。

こんにちは！

最近河合塾の共通テスト模試を受けたのですが、世界史が85点でした！

「勉強法」で大きく変わるのです。

世界史の偏差値が上がると、世界史は得意科目となり、

辛い受験勉強も楽しくなります。

ひとつだけ心残りがあるとすれば

「もっとはやく知っていれば. . .」

と。

効率のいい「勉強法」を知らなければ、圧倒的な時間を無駄にするので
す。

でも裏を返せば、私みたいな要領の悪い人間でも、才能の無い人間で
も、効率のいい「勉強法」さえ知っていれば成績は上がるのです。

私のように時間を無駄にして欲しくないし、**苦勞するのは私だけで十分で
す。**

このレポートにたどり着いてくれたあなたには、きつとなにかの縁です。

だから、私の世界史の偏差値を 10 上げた知識を使って、「**やみくもに暗記しなくても世界史の偏差値を 50 から 60 上げる方法**」を公開しようと思います。

このレポートに書いてあることを実践すると起こること

このレポートに書いてあることを実践すると、こんなことが起こります。

- ・世界史の偏差値を偏差値 **50 から 60** にするための方法が分かる
- ・**上位国公立大学、MARCH、関関同立**を目指すことに自身を持てる
- ・「**何が出来ないか分からない**」状態から抜け出せる

- **世界史の勉強方法で悩まなくなる**



shutterstock.com • 1075401785

成績が上がらない 効率が悪い 結果に結びつかない。

そんな悩みとは今日でおさらばしましょう。

なぜあなたの世界史の成績は伸びないのか？

まずは、なぜあなたの世界史の成績が上がらないのか？というお話をしていきます。

成績が上がらないのは、何か原因があるのです

それを明確していきましょう。

成績が上がるカラクリ

世界には2種類の勉強法があります。

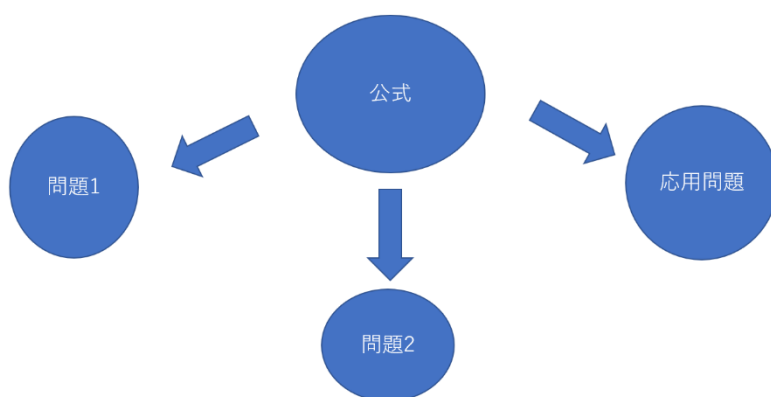
それは、「木の幹勉強法」「枝葉勉強法」です。



勉強はすべて、**本質や根幹**を持っていて、これに沿って勉強していけば
成績が伸びるというカラクリがあります

根幹を掴むことで、応用問題など様々な問題に対応できるのです。

簡単な例を出すならば、数学で公式を1つ覚えれば、いくつもの問題が解けるようになりますよね。



公式をいくつか組み合わせたり、その組み合わせ方を学んだりすると、**ちよつと難しめな応用問題も解けたりします。**

問題を1個1個暗記していなくても、公式をちゃんと使えるようになれば、色々な問題が解けるようになるわけです。

数学の根幹は、公式をマスターすることと言えるでしょう。

ここでは、そのように根幹を意識して勉強していく勉強法を、**木の幹勉強法**と呼びます。

成績を上げるためには、この木の幹勉強法をやっていけばいいということが分かりますね。

世界史が苦手な人、成績が上がらない人は枝葉勉強法をしている

では逆に成績が上がらない人の勉強法はどのようなものでしょうか？

枝葉勉強法は、その根幹に沿うような勉強とは逆で、

成績を上げるために本当に大事なことを認識せずに、些細な知識を暗記しまくったり、教科書をやたら繰り返し読んでみたりするような勉強法のことを言います

具体的にどんな勉強か、というと、

「やみくもに暗記する」

「とりあえず年号を覚える」

「焦ってヨコの歴史を学び始める」

「とりあえず教科書を音読する」

のような世界史の勉強法の仕方です。

これらはすべて、世界史の根幹からは外れている勉強法なんです。

ただ、成績が上がっていない人は、「世界史の何を勉強すれば成績が上がるのか」ということを意識していないだけで、意識をすれば誰でも成績が上がるようになります

世界史のストーリーは数学でいう公式なんです

では、数学で言うような公式、世界史で言う根幹、木の幹はなんなの？
という

ストーリーです。



ストーリーというのは、こういう出来事が、こういう原因で起きて、その後こうなった。それで、この出来事につながっていった、という話の流れのことです。

え？なんでストーリーなの？と思っていることでしょう。

では、さきほど例に出した桃太郎を思い出してみてください。



川から桃がどんぶらこ～というところから、仲間をあつめて鬼退治まで、大抵の日本人は語れると思います。

では、この桃太郎というお話を覚えるとき、話を知らずに、「桃太郎」「きびだんご」「鬼」「キジ」のように用語だけ覚えましたか？

そんなことはないですよ。

ストーリーがベースにあって、これらの用語を覚えていくはず。

世界史も、**人間の行動の記録であり、ストーリーがあります。**

教科書には無機質に書かれているので「ストーリー」を感じにくいですが、ちゃんと物事の順序があり、因果関係があって、**お話になっている**のです。

世界史のストーリーを語れる力がつくと、

出来事の並び替え問題で悩まなくなる

論述問題が解けるようになる

年号をやみくもに覚えなくて良くなる

などなど、良いことがたくさんあります。

ストーリーを覚えることによる汎用性は凄まじいのです。

もう少し具体的に例を出します。

ストーリーを使えば同年代史の問題も解けるようになる？！

例えば、「**アンカラの戦いの際の中国の王朝は？**」という問題があります。同年代史の問題ですね。多くの受験生が苦手としています。

この問題の答えを直接パッと導くことは少し難しいかもしれません。アンカラの戦いに中国は出てこないからです。

でもこのストーリーを押さえていればどうでしょうか？

まだこの範囲を学習していない方向けにも少し詳しくお話しましょう。

アンカラの戦いは、**オスマン帝国とティムール朝の戦い**ですが、この戦いではオスマン帝国は**ボッコボコにやられます**。

戦いが終わったあと、オスマン帝国は「**これ以上やられたら滅びちゃうよ**
〜」と怖がるのですが。ティムールはヒョイっと矛先を向けて、中国に向か
って行くわけです。

これでオスマン帝国は「**助かった〜**」と思い、国を立て直していきます。

ティムールはなぜ中国に向かっていったのでしょうか？それは、ティム
ールのルーツにあります。

ティムールは、モンゴル系のチャガタイハン国の出身で、滅亡したモンゴル帝国の本家の「元」の再興を目指していたのです。

だから、今中国を支配している「明」の存在が許せなかったわけです。

このような一連の流れを覚えておけば、答えは「明」ということが分かると思います。

ストーリーを使えば、論述も楽々？！

もう一つ例を出してみましょう。

「アテネの民主政は、紀元前 5 世紀半ばのペリクレス時代に完成をみたとされているが、その背景をペルシア戦争との関連で簡潔に 60 字以内で記せ。[1996 北海道改題]」という論述問題があります。

60 字なのでかなり簡潔に答えを書かなければなりません。ソロンから順番に書いていく余裕はないことが分かります。

問題文を見ると、**ペルシア戦争**が絡んでいることが分かります。ペルシア戦争の流れを思い出してみると、このストーリーが思い出されてくると思います。

それは、**三段櫓船**という船は、多くの船の漕ぎ手が必要だったのですが、その漕ぎ手に無産市民が採用され活躍したということです。

当時、民会で発言力があつたのは、市民だけでした。市民というのは、アテネのために戦える兵士でした。

ただ、兵士というのは自腹で武器や防具を揃えないといけなかったのも、お金持ちしかなれなかったのです。

必然的にお金のある人は市民、ない人は、発言権もない、政治に参加できない**無産市民**だったわけです。

その無産市民が、海戦の際に、船の漕ぎ手として抜擢され、大活躍したことで彼らの存在が見直され、彼らも発言権を得ていくわけです。

こうして、ソロンの頃から進められた民主政の構築は完成を迎えるのです。

この、無産市民や三段櫂船についてのストーリーを使えば、簡潔に書けば60字以内で収まりますよね。

話の流れを覚えていれば、直接的に覚えていなくても同年代史の問題や、論述問題が解けるようになります

ストーリー暗記のものすごい効用

そして、ストーリーを覚えて問題を解いていくことの良いところは、**年号をやみくもに覚えたりしなくていい点です。**

こうすると、暗記量も減り、勉強効率が上がるのです。

また、「ストーリー」というのは、記憶に残りやすく、用語を丸暗記するよりも、数倍楽なんです。

ある研究によると、理解している記憶と理解していない記憶では **約 20 倍**の覚えやすさの違いが出てくるというデータがあります



つまり年号などの丸暗記など、「理解をしない記憶の仕方」をするよりも、ストーリーを理解して、それから覚えていく方が「20 倍覚えやすい」ってことです。

これヤバいっすよね。

その証拠に、桃太郎は幼児からお年寄りまで誰でも語れる印象がありますよね。また人のエピソードって、とても記憶に残りやすいですよね。

このように、「ストーリー」の記憶の残り方はすごいのです。

逆に言えば、

ストーリーを無視して、用語を丸暗記したり、なんの意識もなく教科書を音読するような枝葉勉強法だと、一問一答くらいは答えられても、さきほどの同年代史や論述などの問題に太刀打ちできないですよね。

しかも、時間がかかりまくるのに全然覚えられず、ちょびっとだけしか偏差値はあがりません。

一方、木の幹勉強法でストーリーを軸に勉強していけば、最初は時間がかかっても、勉強すればするほど、成績が伸びます。

ストーリーを理解すると、用語も覚えやすくなります用語が覚えられると、よりストーリーが自分の中で身に付きます。

こうして、ぐんぐんと成績が上がっていくわけですね。これからは、ストーリーを軸に勉強することを心がけていきましょう。

「ストーリー勉強法」

本来は、この木の幹勉強法、名付けて「ストーリー勉強法」は、有償でお教えしています。

先ほどちらっと出てきた、早稲田受験生も、私の「ストーリー勉強法マスタープログラム」に有料で参加頂いた方です

「ストーリー勉強法」はシンプルな勉強法ではあるものの、効率良く勉強を進めていくための細かなテクニックは膨大にあることに加え、

人によって勉強の進度や志望校が違うため、個人によって勉強の進め方に差があるので、一律にアドバイスがしづらい、というのが理由にあります

ただ、やはり一人でも多くの悩める受験生に、成績の上がる勉強法を知って欲しいという思いから、この**勉強法の最も基本的な部分**を公開していきます。

大切なことは 2 つだけ

ストーリーを使って問題を解くために、「ストーリー勉強法」で勉強したい
あなたが勉強すべきことはこの **2つ** だけです。

それは、

- ・ストーリーを理解する
- ・ストーリーを覚える

これだけです。

シンプルすぎて拍子抜けしたかもしれません。

が、これが「ストーリー勉強法」の最も基本的な部分であり、ぶっちゃけこれをやりこむと、同年代史や論述を特別対策しなくても、偏差値 50 から 60 に上がります。

効果がありすぎて本当は教えたくないですが、特別にこの 2 つの勉強を一気に行える勉強方法を紹介していきましょう

まずはこれをやれ！「ストーリー勉強法」入門

ストーリーを理解するには、物事の因果関係、順序を把握していく必要があります。

分かりやすい例である桃太郎でいえば、

おばあさんが川に行った

川から桃から流れてきた

おばあさん桃を拾った

桃から男の子が生まれた

という順序があるわけです。

また、おばあさんが川から桃を拾ったのは、彼女が川に洗濯に行ったからです。

なんでこうなったの？

それでどうなったの？

ということが説明できれば OK です。

世界史に話を戻しますが、このようなストーリーを掴むには、**参考書を使いながら、因果関係をひとつずつ確認していくことが必要です。**

できれば、固い文章で書かれた教科書ではなく、**分かりやすく書かれた参考書**を買い、そこに**線を引いたり、書き込みをしたり**して行って下さい。

しかし、読んでもすぐに話を忘れてしまう、という問題があります。これは誰でもそうなので、ご安心下さい。

この問題を解決するには、良い方法があります。

それは、参考書を読みながら、**自分でクイズをつくっていく**ことです。

シンプルでいいし、難しくする必要もありません。

例えば、桃太郎で問題をつくるのであれば、

- ・おばあさんが川に行ったのは何しに行ったから？
- ・桃から何が生まれた？
- ・男の子はなんと名付けられた？
- ・なぜ鬼退治に行った？
- ・彼はどのように仲間を手に入れた？

こんな感じです。最初は一問一答感覚で、簡単で良いので作ってみてください。

慣れてきたら**なぜ？どのように？**のような、因果関係を問う問題を入れてみましょう。

問題を作れたら、この問題を解いてみて下さい。あとはこの工程を繰り返して行きましょう。

このクイズづくりの良いところは、ストーリーを忘れるのを防ぐだけでなく、**「暗記」**もできる点です。

ストーリーを覚えるということは、その因果関係だけでなく、必然的に出てきた用語や世紀、または年号を覚えることにも繋がりますよね。

そうしてみると、

参考書の読み方を変えただけで先ほどの

- ・ストーリーを理解する

- ・ストーリーを暗記する

の2つがクリアできていますよね。

クイズづくりが面倒な人は、巻末にチェックテストがついている参考書を買ってみましょう。

ずぼらさんにもできるのが、このストーリー勉強法の良いところです

これを繰り返していくと、ストーリーを思い出せるようになり、用語がサラッと出てくるようになります。

1~3ヶ月で恐らく共通テストレベルで8割前後がとれるようになってきます。

8割前後とれると、偏差値は60を超えてきます。まずは1ヶ月ほど続けてみましょう。

勉強のやる気があるけれど、どこから手をつければいいのか分からないあなたは、まずはテスト範囲や、ここ1ヶ月で学校の授業でやった内容で試してみましょう。

範囲を決めたら、今紹介した勉強法でその範囲を3周～7周ほどして、
定着させていきます。

テストは楽勝になりますし、ひとつの範囲ができるようになると、快感にな
ってもうひとつ、もうひとつ、、、とスナック菓子やフライドポテトのように辞
められなくなります。良い意味で(笑)

また、これは完璧主義な人や、欲張りさんに気をつけて欲しいのですが、

始めからナビゲーター世界史を1巻とかやろうとすると、マジで挫折しま
す。

なので、最初は、教科書 20 ページ分とか、昨日世界史の授業でやった内容とかでいいです。

ランニングで最初から 10 キロ走れる人がおらず、始めは 1 キロとか 2 キロとかから始めるのと同じで、勉強も少しずつ始めて行きます。

この方が勉強しやすいし、挫折しないし、成長しやすいので、良いことづくめです。

細かくステップを踏んでいきましょう。

さらに、ナビゲーター世界史などの参考書で勉強することすらおっくうな人は、世界史の授業を受けながら、クイズを作り、そのクイズを、休み時間や寝る前、トイレに入っている時にでもやってみましょう。

復習ができて知識が頭に入るどころか、ストーリーもススツと頭に入るようになってきます。

慣れてきたら、範囲を広げてみたり、自分で参考書を買ってみたりしましょう。世界史漫画で、さらっと楽しく押さえていくのもアリです。まずは一歩踏み出しましょう。

成績アップのために投資するという考え方

というわけでここまで勉強法のお話をしてきたのですが、最後に、成績をアップさせるために大切な考え方を説明して終わりにしようと思います

受験で一番節約しなくてはならないものは、「**時間**」なんですよ。

時間は有限なので、モタモタしているとすぐにタイムオーバーです。限りのある時間内で、どれだけ時間を節約し、どれだけ効率良く成績を上げていくかが、**合格のカギ**になっていくわけです。

では、時間を節約するにはどうすればいいか？

最も簡単なのは、**必要な情報やツールにお金を使っていくこと**なんです。

ちょっと面白い例え話があるので紹介していきます

いきなりですが、あなたは戦争に行くことになりました。

司令官は「武器は自由に選べ」と言いました。

あなたは武器商人のもとへ行き、武器を売ってくれと頼みました。

しかし、武器商人は言います。

「人気なのは売り切れたんだ。どうしても欲しけりゃこの二つから選べ。」

彼が持っていたのは、戦車と竹槍でした。戦車は 1000 万円。竹槍は 500 円です。

その時、「戦車」を選びますか？

「竹槍」を選びますか？



私なら迷わずに戦車を買います。

借金してでも安全で、強い方を選びます。

もし竹槍を買ったらどうなるでしょう。借金をすることはありませんが、絶

対死にますよね

竹槍は確かに安いです。でも敵の戦車を倒すのは無理です。

多少、お金がかかるというリスクを負っても

生きるために戦車を選びます。

「みんな戦車選ぶでしょ」

って思いますよね。

でもこれが受験になると「竹槍」で戦争に向かおうと

する人が多数なのです。

「教科書だけで勉強しよう」

「学校で買わされた問題集もつたいないから使おう」

とか、勉強や受験のことになると「お金」を節約したい人が多くなるのです

でも、参考書を買わずに、わかりづらい教科書で挑むのは、

竹槍で敵陣に突っ込んでいくようなもんですよね。

たとえ教科書で時間をかけて勉強して、理解ができて、分かりやすい参考書でバリバリ勉強した人と、めちゃくちゃ差がついてしまいます。

だから、受験でうまくいくには、不合格にならないように常に「時間」を節約していく必要があります。

つまり戦車を購入して、自分の命を守っていく必要があるのです。

竹槍で立ち向かっていったら、100%死ぬのと同じで

受験においても時間を節約するための投資を忘れた人は、まず間違いなく落ちていきます。

もちろん最初は、私も「お金」はすごく大事なものだと思っていました。



ただ、それは間違いでした。

高3の9月に世界史の勉強法を手に入れるために投資をしてから、**世界史の成績は55→65と飛躍しました**

編入試験に受かるために、毎年合格者を出している予備校に行くために
投資をしたら、**念願の京大に合格できました**

一人で勉強するのをやめて、英会話スクールにお金を払ってネイティブと
会話したら、そこそこ**英語が話せるようになりました。**

目に見えない価値に投資できるか、

受験においても、今後の人生においても大切なことです。

成長や時間には対価が必要です。

その対価はお金です。

みんなお金を大事にします。

しかしそのせいで犠牲にしているものに気づいていないのです。

『お金』を優先させて、

「時間」を捨ててしまっている人は多いです。

受験の場合、「お金」を優先させると

待っているのは**不合格**の3文字です。

妥協した大学に進み、

将来社会に出て働く時の給料にも学歴は

大きく関わってきます。

しかし、一度投資をしたらそのあなたのお金は

『時間』を生み出します。

もっと言えば、今あなたが望む「合格」を生みだし

『将来の収入』を生み出します。

今私が京大に通えているのは、過去の投資のおかげだと思っています。

あなたもぜひ、「時間」を「お金」で買う感覚を養ってみてください。

さいごに

怪しいブログの、ケイトという怪しいヤツから受け取った、怪しいレポート。

詐欺じゃねえかと思ったかも知れません。

でも、本質を押さえた**まとも**なものだったでしょ(笑)

あなたは小手先のテクニックではなく、考え方をすることで、他の受験生よりも、**一歩も二歩も先に行けます。**

また、このメルマガに登録した人には、最短距離で成績アップをしてもらいます。合格まで、歩くのではなく、電車に乗るでもなく、新幹線に乗ってもらいます。

新幹線では「時間」と「体力」を節約できます。

実際移動するときもそうですよね。

愛知から京都まで歩いてくる人はいません。新幹線に乗れば、体力もほとんど使わなければ、バスや電車みたいに腰が痛くなることはありません。しかも、40分ぐらいでつきます。

あなたには、「最短ルート」を歩んでもらいます。

最後の最後に！

最後まで読んでくれたあなたのために、特典をご用意しています。

このレポートで学んだことを、以下のアンケートフォームにアウトプットしていただけると、

特典「メルマ読者限定プレミアム記事: **早稲田受験生、偏差値 54→62 の達成の道のり**」

をプレゼント致します。

アンケートに答える！ ↓

<https://forms.gle/3iZehXyP751cnLtP6>

志望校も定まらない、自分の偏差値もよく知らない状態から3ヶ月間指導させて頂いた方でしたが、早稲田に照準をあて、世界史の成績をぐんぐん伸ばしていきました。

最終的に偏差値 54→62 を達成されました。

彼女との LINE でのやりとりを**プレミアム記事**としてお見せします。

このレポートを手に入れていない人は見るできない記事となっています。

プレミアム記事において、実際に偏差値 60 以上まで偏差値を上げた方の勉強の道のりを知れば、

・あなたにも偏差値を上げられる可能性十分すぎるくらいにあることを知り、絶望しなくなりますし

・どれくらい勉強していけば、数ヶ月のペースで偏差値を 50→60 にできるのかを大体知ることができて、焦らなくなります

この特典を手に入れたい方は、以下のアンケートで、このレポートのアウトプットをしてみてください

アンケートに答える！ ↓

<https://forms.gle/3iZehXyP751cnLtP6>

明日からは、「世界史の用語や年号などの暗記量を減らしながら、世界史の偏差値を 50 から 60 上げる」ための有益な情報を配信していきます。

ちなみに次回は、「今どれだけ世界史が苦手でも、成績アップには関係ない！」というお話をしていきますので、ぜひご覧下さいね

それでは最後まで読んでいただきありがとうございました！

ブログはこちら

<https://kate.fun/>

Youtube チャンネル

[受験世界史研究所 KATE - YouTube](#)

Twitter

[ケイト@受験世界史コーチ](#)

Instagram

[受験世界史研究所](#)